

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第333号

07年02月25日発行

区議団アンケート中間集計 1351通

負担増に怒りの声

くらし向きについて

良くなった	5.0%
悪くなった	50.1%
変わらない	44.9%

右の表は回答をよせてくださった方の職業をお聞きしたものです。全国的には全労働人口の3名に1名は「非正規雇用」となっていますが、いただいた回答では非正規と失業を合わせると18.8%となりました。正規社員の方から「5年前の収入にたどり着けない。

正規社員	26.6%
非正規社員	15.4%
自営業	14.7%
失業中	3.4%
年金生活	33.6%

前々回アンケート調査から逆転
学校選択制の賛否

日本共産党区議団がいただいた「第4回区民アンケート」で、くらし向きが悪化してきている実態や社会保障の切捨てがくらしに影を落としていることが明確に現れています。



派遣制度があるかぎり、収入増は見込めないだろう。」との意見がありました。財界が賃金抑制のために非正規の枠を広げるよう政府に要請をした労務政策は正規社員の収入減にまで及んでいることを示しています。

また、年金を生活の糧にしている皆さんからは、くらし向きは変わらないとしている方が多かったものの、記述を読ませていただく「悪い状態が変わらない」としている方が圧倒的でした。品川区では、課税最低限度が

引き下げられた結果、新たに納税者となった方は9千名を超えています。医療費や介護保険料も負担感が重く、品川区が「区民ニーズだ」といって建設を推し進める有料老人ホーム(ケアホーム)は右の表にあるように圧倒的な反対の声です。

「学校選択制」は前々

有料老人ホーム建設

賛成	6.3%
反対	78.0%
わからない	15.7%

学校選択制について

賛成	28.3%
反対	41.3%
わからない	30.3%

回調査の時は「賛成・反対・わからない」は三者三様の意見で分かれていましたが、今回の調査では「反対」意見が41・3%となりました。日野学園が開校し、6校構想、一貫教育が具体化する中で、

子育て支援策に望むこと

公立保育園増設	12.4%
幼・保の保育料軽減	11.3%
勤務先の労働改善	10.9%
中学生医療費無料化	10.5%
児童手当増額	10.0%

品川区の教育が世界的にも破綻している競争教育、出来る子と出来ない子をふるいわけ

教育だということが浸透してきた結果だと思われま



産党が過去10回にわたって提案し続けた中学生までの医療費無料化が実現しました。上位を占める保育園増設や保育料軽減は当然の願いですが、労働条件の改善も大きな要望となっています。この点でも自民党、公明党、民主党、無所属議員は「在宅で子育てをする家庭

高齢者支援策に望むこと

老人医療費軽減	19.1%
介護保険料軽減	19.0%
特養ホーム増設	18.1%
ヘルパー利用時間の拡大	10.1%
ディサービス拡大	8.2%



と比べて「不公平」だと主張します。しかし、この理屈には意味がありません。在宅子育ての支援と共働きの子育てを対立させることそのものが間違っています。どんな生活実態で

あれ、安心できる子育て支援を強化すればいいのではないのでしょうか。

議会の問題では、政務調査費の不正使用に端を発し、税金がどのように使われているかが区民の関心となり海外調査は必要ないとの意見が圧倒しました。

区民生活は益々きびしくなる中、一方で税金のムダ使いは許せないというその思いを日本共産党にお寄せください。

海外調査の是非

必要	5.0%
必要ない	78.1%
わからない	16.5%

無料法律相談会

(生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 4月25日(水)

午後6時〜8時



前田あゆみ1597421-000100あゆみ法律事務所。